

概要

本報告書は名古屋大学情報連携基盤センターおよび附属図書館が国立情報学研究所から事業委託を受けて行われた研究・開発の成果をまとめたものです。情報連携基盤センターでの事業は、主にネットワークの面から CSI 事業を推進することを目的とし、グリッドコンピューティング環境の整備、ユーザ認証基盤の整備、および学術情報ネットワークの高度化が含まれます。また、附属図書館では、コンテンツの面から学術機関リポジトリの構築と運用を行っています。委託事業での代表的な研究開発項目は以下のとおりです。

[情報連携基盤センター]

- ▶ グリッドコンピューティング環境の整備
 - ◇ NAREGI(National Research Grid Initiative)ミドルウェアによるグリッドコンピューティング環境の整備
 - ◇ 学内研究組織との連携による実証実験の実施
 - ◇ 学外研究機関との連携による実証実験の実施
 - ◇ パフォーマンス、およびユーザビリティの評価
- ▶ ユーザ認証基盤の整備
 - ◇ 大学内シングルサインオンミドルウェアCAS²の整備
 - ◇ 学内ユーザ認証基盤の整備・構築方法の提案
 - ◇ 全学的に統一されたユーザIDの推進と問題点の検討
 - ◇ ICカードとPKIを用いたアプリケーションの開発
 - ◇ シングルサインオン連携実験への参加
- ▶ 学術情報ネットワークの高度化
 - ◇ 学内 LAN における VLAN 管理システムの構築
 - ◇ 学内 LAN 配線管理システムの構築
 - ◇ 情報セキュリティデータベースシステムの整備
 - ◇ 基幹ネットワークおよび無線 LAN 環境の災害対策の実施
 - ◇ eduroam への参加

[附属図書館]

- ▶ 学術機関リポジトリの構築と運用
- ▶ 学術機関リポジトリのための連携ツールの開発
 - ◇ 著者名解決ツール
 - ◇ メタデータ変換システム
- ▶ 学術機関リポジトリをプラットフォームとする電子出版システムの開発
- ▶ 東海地区各機関の実務担当者の相互連絡体制の整備(SNS の運用開始)

これらの研究・開発の成果は学会発表のほか、情報連携基盤センターニュース、名古屋大学附属図書館研究年報、情報連携基盤センター・附属図書館・国立情報学研究所が共催した東海地区 CSI 事業報告会などにより学内外に公開しました。本報告書には、学会などでの発表リスト、名古屋大学情報連携基盤センターニュースの記事、附属図書館研究年報の記事、および東海地区 CSI 事業報告会での発表資料を収録しました。